

撮影会の様子

長崎県での高校生現場撮影会は、九州地方整備局の長崎河川国道事務所(金井仁志所長)ならびに長崎港湾・空港整備事務所(大庭靖貴所長)、施工関係者の尽力により成功をおさめた。ここでは、7月と8月に行われた撮影会の様子を紹介。
※生徒が撮影した写真は、本紙2023年新春特集号でご紹介します。

長崎港浚渫工事 × 長崎東高校

令和3年度長崎港航路(-12m)浚渫工事(第2次)

発注者 ● 国土交通省長崎港湾・空港整備事務所
受注者 ● ㈱西海建設(現場代理人・瀬川哲熙)
撮影 ● 長崎県立長崎東高等学校写真部

生徒とデミー博士は、長崎港の航路を守るグラブ浚渫船に乗船。浚渫工事のスケールの大きさに驚きながらも、果敢に重機や船内設備、技術者の姿を追った。
生徒感想:「港に船が入る光景は普通のことと思っていたが、その普通を守るためにこのような工事があると知り驚いた」



重機の大きさに圧倒!



森山拡幅工事 × 諫早高校

長崎57号本村地区改良12期外工事

発注者 ● 国土交通省長崎河川国道事務所
受注者 ● ㈱西海建設(現場代理人・原田成一郎)
撮影 ● 長崎県立諫早高等学校写真部

生徒らはICTやドローンといった土木の最新技術に触れるとともに、猛暑の中、集中して作業する人々の姿をキリ撮った。
生徒感想:「土木工事について、ICT技術を活用して重機を制御したり、ドローンを使っていたりして最先端のイメージが変わった」

ICT技術を体験

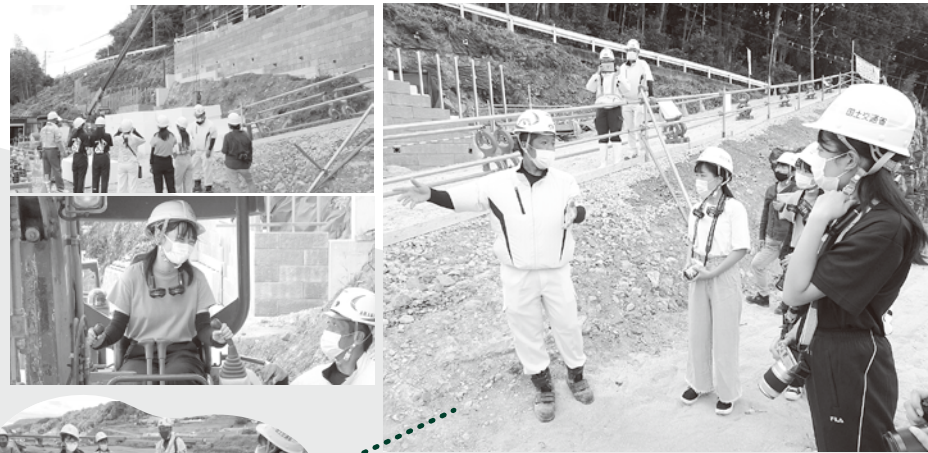


本明川ダム関連工事 × 大村高校

本明川ダム付替県道二股地区改良工事

発注者 ● 国土交通省長崎河川国道事務所
受注者 ● ㈱荒木組(現場代理人・宮崎大寛)
撮影 ● 長崎県立大村高等学校写真部

軽量盛土工(EPS工法)という特殊な工法を見て触れて、ダム建設の必要性やそこに至るまでの様々な工事について理解を深めた。
生徒感想:「実際に体験してどんな感じで作業しているのかもわかり、すごいことしていると感じた」



この発泡スチロールが道路の下に?

高校生たちが土木の新たな魅力を発信!



青春ビルドプロジェクト



初めて土木に触れた高校生が、その驚きや発見を新鮮な感覚で「キリ撮る」ことで、新たな土木の魅力を発信してほしい。一方で、土木関係者には、当たり前過ぎて忘れてしまっている土木の魅力を再発見し、共有してほしい。そんな熱い想いを持つデミー博士(長崎大学職員・出水享氏)と長崎河川国道事務所(金井仁志所長)は2021年度、長崎県内の高校写真部と現場撮影会を行った。生徒の作品は、写真展『高校生がみた土木の世界』として公開され、土木の魅力を広く発信した。

『青春ビルド』は、その活動の更なる展開を目指すプロジェクト。今年度は、長崎・佐賀・大分の3県で取り組みを実施。デミー博士と各県の建設新聞社が、九州地方整備局ならびに各県の高校から協力を得て、現場撮影会や写真展などを開催していく。

ぜひ応援したい!

九州地整が協力!
青春ビルドへ
協力呼び掛け



九州地方整備局長
藤巻 浩之氏

デミー博士
出水 享氏

今年4月、デミー博士は九州地方整備局の藤巻浩之局長を訪ね、21年度に実施した撮影会ならびに写真展を報告した。デミー博士は、「市民目線で感じたことがダイレクトに伝わる」と、土木の現場を初めて見る普通高校の高校生に撮影してもらった意義を強調。さらに、今年度には、その活動を佐賀県と大分県にも拡大することを説明し、協力を求めた。

藤巻局長は、「素晴らしいアイデア。生徒の写真は、工事の関係者では到底撮れないような世界を切り取っている。取り組みの拡大に向け、ぜひ応援したい」と高く評価。同局の事務所長会議で、管内各事務所長に協力するよう呼び掛けた。

5月には、前年度の撮影に参加した▽県立長崎東高等学校▽同諫早高等学校▽同大村高等学校の写真部生徒が、藤巻局長とデミー博士とオンラインで対談した。

デミー博士が生徒の作品を紹介した後、撮影に参加した生徒から「工事現場がより身近に感じた」「もっと重要視されるべき・かつ正しい職業」と感想が上がった。

作品と感想に触れた藤巻局長は、「素晴らしい写真を通して、土木の魅力を世の中に伝えていきたい」と皆さんの思いが本心に響いたと述べ、今年度のプロジェクト成功と、各県の高校生による更なる魅力発信に期待した。



オンラインで局長と対談!
「生徒の皆さんの思いが本当に嬉しい」

プロジェクト始動!
長崎・佐賀・大分で展開